



学校説明会のお知らせ



北海道札幌西陵高等学校(公立)

(札幌市西区平和3条4丁目2-1)

学校説明会

- 開催日時 令和8年8月20日(木)9:00~11:30(受付開始 8:30~)
- 場所 札幌西陵高校 体育館 及び 各教室(1・2・3階)
※入場入口→ 本校 生徒玄関
※出欠席確認/受付で所属中学校・氏名を報告
- 持参物 スリッパ等の履物、外靴を入れる袋等
- 対象 中学生、保護者等、中学校教員
- 内容 学校説明・在校生による発表・体験授業・部活動見学
- 参加申込
・受付期間/令和8年7月1日(水)9:00 ~ 7月23日(木)16:00
・ホームページに掲載する Google Forms により参加申込
<http://www.sapporoseiryu.hokkaido-c.ed.jp/>
・掲載開始日→ 令和8年6月22日(月)
- その他 第2回学校説明会は、主に保護者対象として、10/9(金)に開催予定



陸奥宗光の進路選択

「人生は一度の選択で決まるものではない」。その一例として、明治時代の外交官である陸奥宗光があげられます。

陸奥宗光は 1844 年、現在の和歌山県にあたる紀州藩に生まれました。若い頃から学問を好み、時代の変化に強い関心をもっていました。

当時の日本は幕末の激動期。多くの若者が将来に迷う中、彼は新しい日本をつくるために何を学ぶべきかを真剣に考え、藩の枠にとらわれず、広い視野で知識を身につけようと努力しました。

やがて彼は、坂本龍馬らと交流しながら政治の世界へ進みます。しかし、その道は決して順風満帆ではありませんでした。明治政府の内部対立に巻き込まれ、とある「事件」に関連して、投獄されてしまいます。将来を期待された若者にとって、それは大きな挫折でした。

ところが陸奥は、そこで諦めません。牢獄の中でも英語や法律、政治について学び続け、多くの本を読みました。「今は思うように進めなくても、学び続けることはできる」と考えたのです。この経験が後の活躍につながるようになります。

出獄後、陸奥は外交官として再び歩み始めます。そして外務大臣となり、1894 年には長年日本の課題であったイギリスとの不平等条約改正を実現しました。これは日本が国際社会において対等な立場に近づくための大きな一歩となりました。

彼の進路選択は、困難な状況でも努力を続ける姿勢があれば、新しい道は必ず開けるといえる事例です。進路とはゴールではなく、自分の可能性を広げるためのスタートです。今できる努力を積み重ねることが、自分らしい未来を切り開いていくことになるのです。

